

特定個人情報保護評価書(基礎項目評価書)

評価書番号	評価書名
7	後期高齢者医療保険に関する事務 基礎項目評価書

個人のプライバシー等の権利利益の保護の宣言

八雲町は、後期高齢者医療保険に関する事務における特定個人情報ファイルの取扱いにあたり、特定個人情報ファイルの取扱いが個人のプライバシー等の権利利益に影響を及ぼしかねないことを認識し、特定個人情報の漏えいその他の事態を発生させるリスクを軽減させるために適切な措置を講じ、もって個人のプライバシー等の権利利益の保護に取り組んでいることを宣言する。

特記事項

評価実施機関名

北海道八雲町長

公表日

令和8年2月26日

I 関連情報

1. 特定個人情報ファイルを取り扱う事務	
①事務の名称	後期高齢者医療保険に関する事務
②事務の概要	・高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、被保険者に対し、保険者である北海道後期高齢者医療広域連合を介し、保険給付事業を行う。 ・特定個人情報ファイルは、次の事務に使用する。 ①保険給付、資格管理 ②保健事業
③システムの名称	後期高齢者医療システム、中間サーバー
2. 特定個人情報ファイル名	
後期高齢者医療情報ファイル	
3. 個人番号の利用	
法令上の根拠	番号法第9条第1項 別表第一(59の項)
4. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携	
①実施の有無	[実施する] ＜選択肢＞ 1) 実施する 2) 実施しない 3) 未定
②法令上の根拠	番号法第19条第7項 別表第二(17の項)
5. 評価実施機関における担当部署	
①部署	八雲町 住民生活課
②所属長の役職名	住民生活課長
6. 他の評価実施機関	
7. 特定個人情報の開示・訂正・利用停止請求	
請求先	八雲町(総務課) 二海郡八雲町住初町138番地 0137-62-2111
8. 特定個人情報ファイルの取扱いに関する問合せ	
連絡先	八雲町(住民生活課) 二海郡八雲町住初町138番地 0137-62-2112
9. 規則第9条第2項の適用	
	[]適用した
適用した理由	

II しきい値判断項目

1. 対象人数	
評価対象の事務の対象人数は何人が	[1,000人以上1万人未満] <選択肢> 1) 1,000人未満(任意実施) 2) 1,000人以上1万人未満 3) 1万人以上10万人未満 4) 10万人以上30万人未満 5) 30万人以上
いつ時点の計数か	令和7年9月1日 時点
2. 取扱者数	
特定個人情報ファイル取扱者数は500人以上か	[500人未満] <選択肢> 1) 500人以上 2) 500人未満
いつ時点の計数か	令和7年9月1日 時点
3. 重大事故	
過去1年以内に、評価実施機関において特定個人情報に関する重大事故が発生したか	[発生なし] <選択肢> 1) 発生あり 2) 発生なし

III しきい値判断結果

しきい値判断結果
基礎項目評価の実施が義務付けられる

IV リスク対策

1. 提出する特定個人情報保護評価書の種類		
[基礎項目評価書]		<選択肢> 1) 基礎項目評価書 2) 基礎項目評価書及び重点項目評価書 3) 基礎項目評価書及び全項目評価書 2)又は3)を選択した評価実施機関については、それぞれ重点項目評価書又は全項目評価書において、リスク対策の詳細が記載されている。
2. 特定個人情報の入手(情報提供ネットワークシステムを通じた入手を除く。)		
目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
3. 特定個人情報の使用		
目的を超えた紐付け、事務に必要な情報との紐付けが行われるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
権限のない者(元職員、アクセス権限のない職員等)によって不正に使用されるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
4. 特定個人情報ファイルの取扱いの委託 [<input type="radio"/>]委託しない		
委託先における不正な使用等のリスクへの対策は十分か	[]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
5. 特定個人情報の提供・移転(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。) [<input type="radio"/>]提供・移転しない		
不正な提供・移転が行われるリスクへの対策は十分か	[]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
6. 情報提供ネットワークシステムとの接続 []接続しない(入手) []接続しない(提供)		
目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
不正な提供が行われるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている

7. 特定個人情報の保管・消去		
特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
8. 人手を介在させる作業 [] 人手を介在させる作業はない		
人為的ミスが発生するリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
判断の根拠	マイナンバー利用事務におけるマイナンバー登録事務に係るガイドラインに従い、マイナンバー登録や副本登録の際には本人からのマイナンバー取得の徹底や、住基ネット照会を行う際には4情報または住所を含む3情報による照会を行うことを厳守している。また、特定個人情報の取扱いに関して手作業が介在するが、いずれの局面においても複数人での確認を行うようにしており、人為的ミスが発生するリスクの対策は十分であると考えられる。	

9. 監査	
実施の有無	<input type="checkbox"/> 自己点検 <input type="checkbox"/> 内部監査 <input type="checkbox"/> 外部監査
10. 従業員に対する教育・啓発	
従業員に対する教育・啓発	<input type="checkbox"/> 十分に行っている <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <選択肢> <ol style="list-style-type: none"> 1) 特に力を入れて行っている 2) 十分に行っている 3) 十分に行っていない
11. 最も優先度が高いと考えられる対策 [] 全項目評価又は重点項目評価を実施する	
最も優先度が高いと考えられる対策	<input type="checkbox"/> [3) 権限のない者によって不正に使用されるリスクへの対策] <選択肢> <ol style="list-style-type: none"> 1) 目的外の入手が行われるリスクへの対策 2) 目的を超えた紐付け、事務に必要な情報との紐付けが行われるリスクへの対策 3) 権限のない者によって不正に使用されるリスクへの対策 4) 委託先における不正な使用等のリスクへの対策 5) 不正な提供・移転が行われるリスクへの対策(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。) 6) 情報提供ネットワークシステムを通じて目的外の入手が行われるリスクへの対策 7) 情報提供ネットワークシステムを通じて不正な提供が行われるリスクへの対策 8) 特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策 9) 従業員に対する教育・啓発
当該対策は十分か【再掲】	<input type="checkbox"/> 十分である <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <選択肢> <ol style="list-style-type: none"> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
判断の根拠	特定個人情報を取扱うシステムへのアクセスが可能な職員は、パスワードと静脈認証等による二段階認証に限定しており、アクセス権限の適切な管理を行っているため、対策は十分であると考えられる。

変更箇所

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成29年6月30日	I 1. ③システムの名称	国民健康保険資格システム、中間サーバー	国民健康保険資格システム、中間サーバー、次期国保総合システムおよび国保情報集約シス	事後	
平成29年6月30日	I 5. ②所属長	住民生活課長 山田 耕三	住民生活課長 竹内 友身	事後	
平成29年6月30日	II 1. 対象人数	2015/2/1	2017/6/1	事後	
平成29年6月30日	II 2. 取扱者数	2015/2/1	2017/6/1	事後	
平成29年11月13日	I 5. ②所属長	住民生活課長 竹内 友身	住民生活課長 川口 拓也	事後	
令和1年6月21日	I 5. ②所属長	住民生活課長 川口 拓也	住民生活課長	事後	
令和1年6月21日	I 8. 連絡先	0137-62-2111	0137-62-2112	事後	
令和1年6月21日	II 1. 対象人数	平成29年6月1日時点	平成31年6月1日時点	事後	
令和1年6月21日	II 2. 取扱者数	平成29年6月1日時点	平成31年6月1日時点	事後	
令和2年4月30日	II 1. 対象人数	平成31年6月1日時点	令和2年4月1日時点	事後	
令和2年4月30日	II 2. 取扱者数	平成31年6月1日時点	令和2年4月1日時点	事後	
令和4年3月15日	II 1. 対象人数	令和2年4月1日時点	令和4年3月1日時点	事後	
令和4年3月15日	II 2. 取扱者数	令和2年4月1日時点	令和4年3月1日時点	事後	
令和6年7月24日	II 1. 対象人数	令和4年3月1日時点	令和6年7月1日時点	事後	
令和6年7月24日	II 2. 取扱者数	令和4年3月1日時点	令和6年7月1日時点	事後	
令和7年9月24日	II 1. 対象人数	令和6年7月1日時点	令和7年9月1日時点	事後	
令和7年9月24日	II 2. 取扱者数	令和6年7月1日時点	令和7年9月1日時点	事後	
令和7年9月24日	IV 8. 人手を介在させる作業	項目なし	人為的ミスが発生するリスクへの対策は十分か 十分である (判断の根拠) マイナンバー利用事務におけるマイナンバー登録事務に係るガイドラインに従い、マイナンバー登録や副本登録の際には本人からのマイナンバー取得の徹底や、住基ネット照会を行う際には4情報または住所を含む3情報による照会を行うことを厳守している。また、特定個人情報の取扱いに関して手作業が介在するが、いずれの局面においても複数人での確認を行うようにしており、人為的ミスが発生するリスクの対策は十分であると考えられる。	事後	
令和7年9月24日	IV 11. 最も優先度が高いと考えられる対策	項目なし	最も優先度が高いと考えられる対策 3) 権限のない者によって不正に使用されるリスクへの対策 当該対策は十分か【再掲】 十分である (判断の根拠) 特定個人情報を取扱うシステムへのアクセスが可能な職員は、パスワードと静脈認証等による二段階認証に限定しており、アクセス権限の適切な管理を行っているため、対策は十分であると考えられる。	事後	